
中野 振一郎 Shin`ichiro Nakano, Cembalo

京都生まれ。90年10～11月に大阪で開いた4回連続の独奏会「ヨーロッパ・チェンバロ音楽の旅」により「大阪文化祭金賞」等を受賞。翌年7月にはフランスの「ヴェルサイユ古楽フェスティバル」のクーブラン・サイクルに日本代表として参加。92年6月、「バークレー古楽フェスティバル」へ最年少の独奏家として招かれる。93年ロンドンの独奏会場ウィグモア・ホールのデビュー・リサイタルを開き、「日本人には珍しいパーソナリティーを持っている。」と的確な評価を受けた。CDの収録にも意欲的で、2000年に出した「ゴルトベルク変奏曲」はヒストリカルとモダンを弾き分けるという誰にも真似の出来ない演奏と発想でレコード・アカデミー賞に輝いた。2003年5月にはバッハアルヒーフ主催の「バッハ フェスティバル イン ライブツィヒ 2003」に参加。J.S.バッハ／ゴルトベルク変奏曲、C.P.E.バッハ／チェンバロ協奏曲 イ短調 Wq.1（世界初演）等を演奏し、好評を博す。続く2004年8月、ドイツで行われたソロ・リサイタル・ツアーでは地元紙から『例外”のチェンバリスト』、「耳のご馳走」など大絶賛された。2004年10月にC.P.E.バッハの作品を取り上げ行ったリサイタル（大阪・イシハラホール）が、2004年度文化庁芸術祭・大賞を受賞。2008年度「音楽クリティック・クラブ賞」受賞。2008年6月には、チェコへの演奏旅行を行ない現地で大きな反響を呼んでおり、2009年6月にリリースしたパーセルのCDでは2009年度「第47回レコード・アカデミー賞」を受賞している。2010年11月に「チェンバロをひこう」（～憧れの楽器をはじめのための名曲集～）を音楽之友社より出版し、後進の指導にも力を注いでいる。名古屋音楽大学客員教授。

オフィシャルサイト <http://nakano-shinichiro.com/>

(2017年8月現在・転載禁止)